

2022年1月29日(土) 初めての雪の赤岳

メンバー：L谷内、小野木、野中、岩田(記録)

昨シーズン、冬山へ入門し八ヶ岳にあちこち登りましたが、赤岳はまだ早いと判断し、今シーズンに持ち越しました。どうしても行きたい冬の赤岳、おねだりをして計画していただきました。屈強なメンバーにハーネス・ロープを装備、完全武装で安全安心登山となりました。

美濃戸口から歩くか、美濃戸まで車で行くか、検討しましたが美濃戸口から歩きました。歩いていくと林道の登りでタイヤが空転して登れない車あり。やっぱり冬の赤岳は美濃戸口から歩くのもんだなあ。怖い怖い。

行者小屋までは難なく到着。雪たっぷり、テン場が雪で埋まっています。ここでハーネス、アイゼン、ヘルメットを装着し、ストックをピッケルに持ち替えて文三郎尾根へ。夏には歩いているけれど、雪が付いた状況は初めての文三郎、雪が適度に被ってアイゼンが刺さりやすく、意外と歩きやすい。どんどん高度を稼ぎます。(写真1)

危ない箇所は中岳への分岐を過ぎて赤岳の直下の岩稜帯。「落ちたら立場川まで止まんよ～」とおどされながら慎重に登ると赤岳山頂はもうすぐ。

山頂付近はさすがに風が強かったので記念撮影をして先にすすむ。(写真2) 稜線では風は吹いていますが、飛ばされるほどではなく余裕をもって行動できました。

下りの危険箇所は山頂から天望荘までの下りと地藏尾根分岐から樹林帯までの下り。新雪でゆるかったり、逆に凍ってアイゼンが立たないと滑落の危険ありますが、今日はここもちょうどよい硬さの雪で助かりました。(写真3)

樹林帯の安全地帯に入ったあたりでアイゼン、ハーネス、ヘルメットを外す。ここからは登山道をすべるように下ってすぐに行者小屋着。これまで、登山靴ですべりながら下りるのが苦手な足の筋肉疲労につながっていたのですが、少し慣れたのか、ピッケルで制御しながら下ることができました。

行者小屋では青空が・・・もう少し早ければよかったのに。テン場にはテントが増えています。

(写真4)

待望の冬の赤岳。まずは概要がつかめました。ありがとうございました。これからはいろんな条件で赤岳はじめ、冬の八ヶ岳に登りたいと思います。次は、寒いと噂の行者小屋でマイナス20℃テント泊だ！

#### 【コースタイム】

美濃戸口	5 : 50
美濃戸	6 : 50
行者小屋	8 : 45
文三郎尾根	
赤岳	10 : 40
地藏尾根	
行者小屋	12 : 00
美濃戸	13 : 10
美濃戸口	13 : 50

写真1 文三郎尾根分岐にて



写真2 山頂にて



写真3 赤岳天望荘からの富士山



写真4 行者小屋からテン場越しの赤岳

